

**A 会場（大講堂 2F）**

**1 日目： 7 月 7 日（土）**

**13:00**

開会の辞

**13:05 - 13:15**

大会長挨拶 医療の質向上をめざした医薬品情報

黒澤 菜穂子（北海道薬科大学）

**13:20 - 14:20**

特別講演 医薬品情報と EBM —プロの技能はどこに必要か—

櫻井 恒太郎（北海道大学医学研究科 医療情報学分野）

座長：折井 孝男（NTT 東日本関東病院 薬剤部）

**14:30 - 15:10**

教育講演 How to Get Drug Information from the FDA/CDER Webpage

Deborah F. Yaplee（FDA, USA）

座長：黒澤 菜穂子（北海道薬科大学）

**15:20 - 17:40**

シンポジウム 1 卒後の医薬品情報教育を考える

オーガナイザー・座長：武立 啓子（昭和薬科大学）

井関 健（北海道大学病院 薬剤部）

基調講演：情報を医療の質向上に役立たせるために

内山 充（薬剤師認定制度認証機構）

S-1-1. 臨床を意識した DI の活用を目指して

前澤 佳代子（信州大学医学部附属病院 薬剤部）

S-1-2. 製薬企業の医薬品情報教育を考える —研究開発および営業の立場から—

樽野 弘之（第一三共株式会社）

研究開発本部 研究開発管理部）

S-1-3. 医薬品ライフタイムマネジメントと生涯研修

澤田 康文（東京大学大学院 情報学環・薬学系研究科）

S-1-4. 医薬品情報を活かした治療戦略 ～情報収集から活用へ～

笠師 久美子（北海道大学病院 薬剤部）

総合討論

**A 会場（大講堂 2F）**

**2 日目： 7 月 8 日（日）**

**9:00 - 9:30**

日本医薬品情報学会 総会

**9:40 - 12:00**

シンポジウム 2 薬剤師の専門性を支える医薬品情報

オーガナイザー・座長：乾 賢一（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

座長：大森 栄（信州大学医学部附属病院 薬剤部）

S-2-1. 専門薬剤師に求められる医薬品情報

日本静脈経腸栄養学会 栄養サポート（NST）専門薬剤師として

後藤 伸之（名城大学薬学部）

S-2-2. 感染制御専門薬剤師の役割と医薬品情報

唯野 貢司（北海道医療大学薬学部）

S-2-3. がん専門薬剤師の役割と医薬品情報

○橋田 亨、乾 賢一（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

S-2-4. 糖尿病療養指導士の役割と医薬品情報

厚田 幸一郎（北里研究所病院 薬剤部）

総合討論

**12:10 - 13:10**

ランチョンセミナー 1 医療現場におけるキット製剤の現状と今後の展望

－医療過誤の防止、調剤や処置の合理化－

吉元 公一（東京医科大学八王子医療センター 薬剤部）

座長：林 昌洋（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部）

共催：エーザイ株式会社

**13:20 - 13:30**

次期大会長挨拶

**13:30 - 16:00**

---

**シンポジウム 3 セルフメディケーションと一般用医薬品の情報**

オーガナイザー・座長：望月 眞弓（共立薬科大学）

安部 好弘（ケイロン薬局）

基調講演：改めてセルフメディケーションの役割と推進の行方を考える

山崎 幹夫（新潟薬科大学）

S-3-1. 薬局薬剤師がこれからの一般用医薬品の情報に望むこと

有澤 賢二（㈱ミズキ 屯田七条薬局）

S-3-2. 消費者が望む一般用医薬品の販売の在り方

神田 敏子（全国消費者団体連絡会）

S-3-3. 一般用医薬品の添付文書・外箱情報の改善について

－平成 18 年度厚生労働科学研究報告から－

古澤 康秀（明治薬科大学）

S-3-4. 一般用医薬品情報 MR 養成への取り組み

大山 恵造（日本大衆薬工業協会（エスエス製薬））

総合討論

**16:10**

---

閉会の辞

**B会場（小講堂1F）**

**1日目：7月7日（土）**

**15:20 - 16:20**

一般演題 医薬品情報Ⅰ

座長：井澤 美苗（医療法人育柿会 あさお井澤クリニック）

**B-1-01. 電子ファイルで提供されるインタビューフォームの活用に関する研究**

○若林 進<sup>1)</sup>、篠原 高雄<sup>1)</sup>、永井 茂<sup>1)</sup>、山田 安彦<sup>2)</sup>、折井 孝男<sup>3)</sup>

1) 杏林大学医学部附属病院 薬剤部 2) 東京薬科大学薬学部

3) NTT 東日本関東病院 薬剤部

**B-1-02. 院内LANを用いた情報提供、添付文書閲覧システムの利用状況**

○川合 真次<sup>1)</sup>、川岸 亨<sup>1)</sup>、住吉 一宏<sup>2)</sup>、深井 敏隆<sup>1)</sup>、荻野 修<sup>1)</sup>、菅原 満<sup>1)</sup>、  
櫻井 恒太郎<sup>2)</sup>、井関 健<sup>1)</sup>

1) 北海道大学病院 薬剤部 2) 北海道大学病院 医療情報企画部

**B-1-03. 携帯端末を利用した医薬品情報提供システムの開発**

○宇野 可奈子<sup>1)</sup>、高中 紘一郎<sup>2)</sup>

1) (株) ブレスユー 2) 新潟薬科大学薬学部

**B-1-04. インターネットを活用した医師に対する情報提供システムの構築と運用**

○堀 里子<sup>1)</sup>、三木 晶子<sup>1)</sup>、大谷 寿一<sup>1)</sup>、澤田 康文<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座

2) 東京大学大学院情報学環・学術情報学府

**B-1-05. 医薬品情報学のためのコンピュータリテラシー能力の現状と課題**

○鈴木 理恵、大津 史子、後藤 伸之

名城大学薬学部 医薬品情報学研究室

**16:20 - 17:32**

一般演題 医薬品情報Ⅱ

座長：若林 進（杏林大学医学部附属病院 薬剤部）

**B-1-06. イギリスにおける薬剤師による医薬品情報の発信 ～「よくある質問集」**

○水上 彩、濱野 公俊、坂上 逸孝、横山 美恵子、増原 慶壮

聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部

**B-1-07. Pharmaceutical Markup Language（PML）を用いた医薬品情報の活用に関する研究**

○岡崎 光洋<sup>1)</sup>、早瀬 幸俊<sup>1)</sup>、浜田 真向<sup>2)</sup>、西澤 麻里<sup>2)</sup>、倉田 香織<sup>2)</sup>、土橋 朗<sup>2)</sup>

1) 北海道薬科大学 社会薬学分野

2) 東京薬科大学薬学部 医薬品情報解析学教室

**B-1-08. 化学に基づいた医薬品情報の重要性**

○斉藤 俊昭<sup>1)</sup>、串田 一樹<sup>1)</sup>、村山 純一郎<sup>2)</sup>、大井 一弥<sup>3)</sup>、山本 美智子<sup>4)</sup>、

榛澤 雄二<sup>1)</sup>

1) 昭和薬科大学 2) 昭和大学病院 薬剤部 3) 城西大学薬学部

4) (独) 医薬品医療機器総合機構

- B-1-09. 化学物質としての医薬品情報について —保管・管理・暴露・廃棄の情報—  
○串田 一樹  
昭和薬科大学
- B-1-10. 医療事故防止対策のための厚生労働省局長通知に基づく販売名変更情報の現状に関する検討  
○浅井 美由紀、黒田 ちか江、小原 美江、平山 武司、黒山 政一  
北里大学東病院 薬剤部
- B-1-11. 医薬品医療機器総合機構における医薬品医療機器情報提供ホームページ  
○野村 香織、田島 聡、黒羽 真吾  
(独) 医薬品医療機器総合機構

## B 会場（小講堂 1F）

2 日目： 7 月 8 日（日）

9:40 - 10:40

一般演題 一般用医薬品

座長：下平 秀夫（株）ファーマック 富士見台調剤

- B-2-01. 一般用医薬品の販売における情報提供の現状と課題  
○住広 匡謙<sup>1)</sup>、堀 里子<sup>2)</sup>、三木 晶子<sup>2)</sup>、大谷 壽一<sup>2)</sup>、澤田 康文<sup>2,3)</sup>  
1) 湧永製薬株式会社 ヘルスケア研究所 2) 東京大学大学院薬学系研究科  
3) 東京大学大学院情報学環
- B-2-02. 医療用医薬品との相互作用を起こし得る OTC 薬に関する調査  
—OTC 薬による個別化セルフケアのための分類—  
○井澤 美苗<sup>1)</sup>、北野 智英<sup>2)</sup>、佐々木 琢也<sup>3)</sup>、小川 道孝<sup>4)</sup>、巨勢 典子<sup>1)</sup>、  
福島 紀子<sup>5)</sup>、中島 恵美<sup>1)</sup>  
1) 共立薬科大学 薬剤学講座 2) 住商ドラッグストアーズ  
3) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部  
4) たちばな調剤薬局 5) 共立薬科大学 社会薬学講座
- B-2-03. 一般用医薬品の labelling に関する調査研究 —その2—  
梶川 忠彦<sup>1)</sup>、○泉澤 恵<sup>2)</sup>、佟為<sup>1)</sup>、日比野 治雄<sup>1)</sup>、矢部 拓也<sup>3)</sup>、白神 誠<sup>2)</sup>  
1) 千葉大学大学院 2) 日本大学薬学部 3) 徳島大学総合科学部
- B-2-04. 一般用医薬品の添付文書用語に関する理解度調査  
～効能又は効果の用語に関する検討～  
○宮岡 麻衣<sup>1)</sup>、橋口 正行<sup>1)</sup>、望月 眞弓<sup>2)</sup>  
1) 北里大学薬学部 臨床薬学研究センター医薬品情報部門  
2) 共立薬科大学 医薬品情報学講座
- B-2-05. 薬薬連携に関するアンケート調査（2） —入退院に関して—  
○三木 晶子<sup>1)</sup>、堀 里子<sup>1)</sup>、大谷 壽一<sup>1)</sup>、澤田 康文<sup>1,2)</sup>  
1) 東京大学大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座  
2) 東京大学大学院情報学環・学術情報学府

**10:40 - 11:52**

一般演題 後発医薬品

座長：大嶋 耐之（金城学院大学 薬学部）

**B-2-06. 後発医薬品同等性情報の批判的吟味**

○中村 敏明<sup>1)</sup>、渡辺 享平<sup>1)</sup>、脇屋 義文<sup>2)</sup>、原田 香里<sup>3)</sup>、浜田 康次<sup>3)</sup>、  
政田 幹夫<sup>1)</sup>

- 1) 福井大学医学部附属病院 薬剤部 2) 北陸大学薬学部 臨床薬学  
3) 日本医科大学千葉北総病院 薬剤科

**B-2-07. ケトプロフェンテープの先発医薬品と後発医薬品の使用感調査**

○斉田 翌美<sup>1)</sup>、井上 綾子<sup>1)</sup>、石橋 久<sup>1)</sup>、富永 宏治<sup>1)</sup>、勢島 充<sup>2)</sup>、高木 淳一<sup>2)</sup>、  
堀 里子<sup>3)</sup>、三木 晶子<sup>3)</sup>、小野 信昭<sup>2)</sup>、大谷 壽一<sup>3)</sup>、澤田 康文<sup>3, 4)</sup>

- 1) 福岡市薬剤師会薬局 2) (社)福岡市薬剤師会  
3) 東京大学大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座  
4) 東京大学大学院情報学環・学際情報学府

**B-2-08. 花粉症のシーズンに向けた絞り込みによる後発医薬品の使用促進**

○田村 祐輔

(株)ファーコス 薬事情報室

**B-2-09. 後発医薬品切り替え後に頻脈を起こした症例についての検証**

○小川 園子<sup>1)</sup>、笹嶋 勝<sup>2)</sup>、正木 佳也子<sup>3)</sup>、大和久 尚<sup>2)</sup>、高木 友直<sup>2)</sup>

- 1) 薬局メディクス 我孫子店 2) 日本メディカルシステム株式会社  
3) 薬局メディクス 篠崎II号店

**B-2-10. 処方せん様式変更後の後発医薬品への変更状況について**

○梅木 達則<sup>1)</sup>、浅野 由美子<sup>1)</sup>、上田 薫<sup>1)</sup>、中浜 裕<sup>1)</sup>、遠藤 喬<sup>2)</sup>、伊藤 弥生<sup>3)</sup>、  
佐藤 一生<sup>4)</sup>、金子 智子<sup>5)</sup>、林 哲<sup>6)</sup>、高橋 宏和<sup>7)</sup>、太田 豊<sup>8)</sup>、島森 美光<sup>9)</sup>、  
早瀬 幸俊<sup>9)</sup>

- 1) 市立室蘭総合病院 薬局 2) どんぐり薬局 3) クリオネ中央薬局  
4) ハイレン薬局 室蘭中央店 5) 日本調剤 室蘭薬局 6) アイン薬局 室蘭店  
7) さくら薬局 室蘭山手店 8) 多田薬局 本店 9) 北海道薬科大学

**B-2-11. ジェネリック医薬品に関する我が国の研究論文のレビュー**

○緒方 宏泰<sup>1)</sup>、塩見 真理<sup>1)</sup>、伊藤 永久佳<sup>1)</sup>、坂上 逸孝<sup>2)</sup>、増原 慶壮<sup>2)</sup>

- 1) 明治薬科大学 薬剤学 2) 聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部

**12:10 - 13:10**

ランチョンセミナー2 情報と使用実績の充実で信頼高まるジェネリック医薬品

木邑 道夫（安田女子大学薬学部 臨床薬学講座）

座長：黒澤 菜穂子（北海道薬科大学）

共催：沢井製薬株式会社

**13:30 - 14:30**

---

一般演題 がん治療 I

座長：齊藤 嘉津彦（北海道薬科大学）

**B-2-12. 癌化学療法レジメン登録システムの構築・運用における薬剤師の役割**

- 松岡 吉蔵、阿部 泉、高木 大輔、松波 奈緒美、佐々木 理絵、  
平岡 三佳、大野 伴和、山崎 将英、天間 雅美、矢萩 秀人、本郷 文教、  
山田 英俊、佐藤 誠二  
医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 薬剤部

**B-2-13. 癌研有明病院における登録レジメンの分析と考察**

- 濱 敏弘、平岡 知子、青山 剛、高橋 郷  
癌研究会有明病院 薬剤部

**B-2-14. 汎用データベースソフトを利用したがん化学療法の支援環境の構築**

- 田中 正臣、加藤 晋一郎、畠中 仁大、瀬川 麻衣子、嶽石 茉里、川原 昇平、  
登谷 佳奈、岩本 浩史、地主 隆文、高橋 誠、青田 忠博  
医療法人彰和会 北海道消化器科病院 薬剤部

**B-2-15. がん専門領域における薬剤師教育のための Computer Based Test (CBT) システム作成の試み**

- 表 忍<sup>1,2)</sup>、橋田 亨<sup>1)</sup>、寺田 智祐<sup>1)</sup>、矢野 育子<sup>1)</sup>、桂 敏也<sup>1)</sup>、乾 賢一<sup>1)</sup>  
1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部 2) 三菱京都病院 薬剤部

**B-2-16. がん化学療法における薬剤師の取り組み**

- 地主 隆文、田中 正臣、加藤 晋一郎、瀬川 麻衣子、嶽石 茉里、登谷 佳奈、  
川原 昇平、高橋 誠、畠中 仁大、岩本 浩史、青田 忠博  
医療法人彰和会 北海道消化器科病院 薬剤部

**14:30 - 15:30**

---

一般演題 がん治療 II

座長：本郷 文教（手稲溪仁会病院 薬剤部）

**B-2-17. ゲフィチニブ導入時における薬剤師の役割**

- 沖 洋充、細貝 久美子、久保田 康生、菅原 満、井関 健  
北海道大学病院 薬剤部

**B-2-18. 頭頸部がん化学療法の副作用集計データに基づく患者向け説明書の作成  
～ドセタキセル/シスプラチン/5FU 併用 (DCF) 療法～**

- 樋口 秀太郎<sup>1)</sup>、角田 尚<sup>1)</sup>、高橋 郷<sup>1)</sup>、杉崎 崇人<sup>1)</sup>、根本 真記<sup>1)</sup>、  
今田 洋司<sup>1)</sup>、川上 和宜<sup>1)</sup>、五月女 隆<sup>2)</sup>、濱 敏弘<sup>1)</sup>  
1) 癌研究会有明病院 薬剤部  
2) 癌研究会有明病院 化学療法科

- B-2-19. 抗がん剤による口内炎とラジカル作用との関連性について  
－医薬品添付文書を用いた検討－  
○毎熊 隆誉、熊代 桂子、手嶋 大輔  
就実大学薬学部 医療情報学研究室
- B-2-20. 超分子化合物 [2] カテナン（TCO-A0001）の抗腫瘍効果とエレクトロポレーションならびにソノポレーションの影響  
○小野 信文<sup>1)</sup>、稲倉 和幸<sup>1)</sup>、木村 公彦<sup>1)</sup>、木村 恵<sup>1)</sup>、岸本 典子<sup>1)</sup>、  
中西 愛<sup>1)</sup>、原 一樹<sup>1)</sup>、牛島 逸子<sup>1)</sup>、高田 十志和<sup>2)</sup>  
1) 福岡大学薬学部 医薬品情報学教室  
2) 東京工業大学大学院 理工学高分子物質
- B-2-21. PCR-SSCP 法を用いたゲフィチニブ感受性予測のための EGFR 遺伝子変異のスクリーニング法の検討  
○澤口 武尊<sup>1)</sup>、田中 寛之<sup>1)</sup>、加藤 則夫<sup>1)</sup>、原田 眞雄<sup>2)</sup>、宮本 篤<sup>3)</sup>、  
齊藤 嘉津彦<sup>4)</sup>、守屋 寛之<sup>4)</sup>、黒澤 菜穂子<sup>4)</sup>  
1) 北海道がんセンター 薬剤科 2) 北海道がんセンター 呼吸器科  
3) 札幌医科大学附属病院 薬剤部 4) 北海道薬科大学

## C 会場（第1会議室 1F）

1 日目： 7 月 7 日（土）

15:20 - 16:20

一般演題 副作用と相互作用

座長：下堂 蘭 権洋（鹿児島大学病院 薬剤部）

- C-1-01. 札幌厚生病院における副作用被害救済制度への薬剤師の関わり  
○谷口 亮央、橋本 義弘、熊谷 いづみ、桂川 みき、志賀浦 祥克、小林 龍、  
柴波 明男、妻木 良二  
JA 北海道厚生連 札幌厚生病院 薬剤科
- C-1-02. 副作用症状に部位別表現を用いた薬剤情報提供文書および WEB の作成と運用  
○村上 ひろみ、柳田 志穂、正木 智枝、篠 道弘  
静岡県立静岡がんセンター 薬剤部
- C-1-03. 抗菌薬副作用情報の SOM マップを用いたビジュアル化と解析  
○川上 準子<sup>1)</sup>、星 憲司<sup>1)</sup>、岩谷 香寿美<sup>1)</sup>、佐藤 渉<sup>1)</sup>、浜田 康次<sup>2)</sup>、  
林 誠一郎<sup>3)</sup>、佐藤 憲一<sup>1)</sup>  
1) 東北薬科大学 2) 日本医大千葉北総病院 薬剤部  
3) 日本薬剤師会 中央薬事情報センター
- C-1-04. キノロン系薬と金属含有製剤の相互作用情報に関する検討  
○荻野 弘美<sup>1)</sup>、木津 純子<sup>1)</sup>、堀 誠治<sup>2)</sup>  
1) 共立薬科大学大学院 実務薬学講座  
2) 東京慈恵会医科大学 薬理学講座第1

C-1-05. 臓器障害時における抗がん剤投与量設定の指針に関する調査

○小林 はづき<sup>1)</sup>、渡辺 享平<sup>1)</sup>、松田 恵美子<sup>2)</sup>、矢野 良一<sup>1)</sup>、塚本 仁<sup>1)</sup>、  
中村 敏明<sup>1)</sup>、後藤 伸之<sup>3)</sup>、政田 幹夫<sup>1)</sup>

1) 福井大学医学部附属病院 薬剤部 2) 福井赤十字病院 薬剤部  
3) 名城大学薬学部

**C 会場（第1会議室 1F）**

**2 日目： 7 月 8 日（日）**

**9:40 - 10:28**

一般演題 情報教育 I

座長：串田 一樹（昭和薬科大学）

C-2-01. 実務実習生はどこまで薬の商品名を知っているのか

－薬学生と薬剤師の認識について－

○屋地 慶子、下堂 蘭 権洋、茂見 茜里、重永 明恵、武田 泰生、山田 勝士  
鹿児島大学病院 薬剤部

C-2-02. 学生による患者へのアンケート調査と実施後の学生への意識調査

○高松 昭司<sup>1)</sup>、富澤 崇<sup>1)</sup>、岸本 雅邦<sup>2)</sup>、中島 新一郎<sup>1)</sup>

1) 城西国際大学薬学部 2) 東口 岸本薬局

C-2-03. 国際医療福祉大学における医薬品情報学実習の評価

○真野 泰成、廣澤 伊織、田島 正教、山田 治美、旭 満里子  
国際医療福祉大学薬学部

C-2-04. アリゾナ大学薬学部における情報教育とリソース

○早川 達<sup>1)</sup>、Michael D. Katz<sup>2)</sup>

1) 北海道薬科大学 2) The University of Arizona College of Pharmacy

**10:28 - 11:16**

一般演題 情報教育 II

座長：大津 史子（名城大学 薬学部）

C-2-05. OTC 薬についての薬学生向け e-Learning の Web 公開とその使用評価

○築地 茉莉子、井澤 美苗、崔 吉道、中島 恵美  
共立薬科大学 薬剤学講座

C-2-06. 薬剤師を対象とした集合研修へのインターネットTV会議システムの導入と評価

○佐藤 宏樹<sup>1)</sup>、大谷 壽一<sup>1)</sup>、三木 晶子<sup>1)</sup>、堀 里子<sup>1)</sup>、澤田 康文<sup>1, 2)</sup>

1) 東京大学大学院薬学系研究科 2) 東京大学大学院情報学環

C-2-07. 薬剤師の情報ニーズと図書館に期待するサービス

○平 紀子

北海道医療大学 学術情報センター

C-2-08. 「薬学教育6年制」、「医療人GP」、そして「図書館改革」

- 市原 和夫、梅田 純代、森田 一彦、伊藤 慎二、丹保 好子、大和田 榮治  
北海道薬科大学 図書館・医薬情報センター

**13:30 - 14:18**

一般演題 医薬品適正使用

座長：阿部 宏子（恩方病院 薬剤部）

C-2-09. 医療過誤に及ぼす要因解析に関する研究：

4. Fault Tree Analysis (FTA) 法によるヒューマンエラーの分析

- 大嶋 耐之<sup>1)</sup>、斎藤 真<sup>2)</sup>、山森 美幸<sup>3)</sup>、黒野 俊介<sup>3)</sup>、高桑 勇次<sup>3)</sup>、  
長谷川 高明<sup>3)</sup>  
1) 金城学院大学薬学部 2) 三重県立看護大学  
3) 愛知医科大学病院 薬剤部

C-2-10. 適応外使用の調査 ―文献データベースを基に― 第1報

- 榊原 統子、日高 峰子、山倉 真由美、越久村 浩司、平林 洋介、荒井 裕美子、  
伊藤 永久佳、上原 恵子  
財団法人 日本医薬情報センター

C-2-11. 薬剤選択支援を目的とした医薬品データベースの構築とそのアンチドーピングへの活用

- 小杉 義幸、山口 竹弥、寺澤 孝明  
東京薬科大学薬学部 ドラッグラショナル研究開発センター

C-2-12. 高脂血症治療に対する臨床医の意識調査からみたスタチン系薬剤の適正使用について

- 角山 香織<sup>1)</sup>、谷藤 亜希子<sup>1)</sup>、植田 貴史<sup>1)</sup>、矢島 空弓<sup>1)</sup>、槇本 博雄<sup>1)</sup>、  
西口 工司<sup>1)</sup>、平井 みどり<sup>1)</sup>、藤岡 由夫<sup>2)</sup>、井上 信孝<sup>3)</sup>、山根 光量<sup>4)</sup>、  
石川 雄一<sup>5)</sup>、栄田 敏之<sup>6)</sup>  
1) 神戸大学医学部附属病院 薬剤部  
2) 神戸学院大学栄養学部 栄養生理学  
3) 国立循環器病センター研究所 脈管生理部  
4) 山根クリニック  
5) 神戸大学医学部保健学科 基礎看護学  
6) 京都大学大学院薬学研究科 統合薬学フロンティア教育センター

**14:18 - 15:06**

---

一般演題 その他

座長：佐藤 憲一（東北薬科大学）

**C-2-13. オルプリノンの体内動態と適正使用**

○高木 美帆、福本 恭子、上野 和行  
新潟薬科大学薬学部 医薬品情報教室

**C-2-14. バンコマイシンの内服により血中濃度が中毒域に達した 1 症例**

○山崎 伸吾<sup>1)</sup>、中村 裕義<sup>1)</sup>、山形 真一<sup>1)</sup>、三浦 剛<sup>1)</sup>、服部 憲幸<sup>2)</sup>、  
篠崎 広一郎<sup>2)</sup>、貞広 智仁<sup>2)</sup>、有吉 範高<sup>1)</sup>、織田 成人<sup>2)</sup>、北田 光一<sup>1)</sup>  
1) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部  
2) 千葉大学医学部附属病院 救急部・集中治療部

**C-2-15. 血清ビリルビン値の変動と遺伝子情報 -ABCC2 遺伝子多型での検討-**

○中村 俊之<sup>1)</sup>、守屋 寛之<sup>1)</sup>、齊藤 嘉津彦<sup>1)</sup>、中原 生哉<sup>2)</sup>、後藤 啓<sup>2)</sup>、  
有村 佳昭<sup>2)</sup>、篠村 恭久<sup>2)</sup>、今井 浩三<sup>3)</sup>、宮本 篤<sup>4)</sup>、黒澤 菜穂子<sup>1)</sup>  
1) 北海道薬科大学 2) 札幌医科大学附属病院 内科学第一講座  
3) 札幌医科大学 4) 札幌医科大学附属病院 薬剤部

**C-2-16. 粉体注射剤の溶解時の液量増加とバイアル内壁への付着容量**

○田代 佳織、山形 真一、土屋 晃三、齊藤 敦子、仲佐 啓詳、中村 裕義、  
有吉 範高、北田 光一  
千葉大学医学部附属病院 薬剤部

**懇親会**

**7月7日（土）**

18:00～19:30 エンレイソウ（北大構内）

**日本医薬品情報学会 幹事会**

**7月7日（土）**

11:30～12:45 第2会議室（1F）